



“Catalog Pocket”  
でも配信しています



# 上松町 広報 あげまつ



## 上松町少年相撲大会大会

7月22日(金)に3年ぶりとなる上松町少年相撲大会が開催されました。

今年は天候に恵まれ小学校相撲場での開催となり、どの取組でも、全力を出した手に汗を握るような勝負が繰り広げられました。

勝っても負けても精一杯力を出し切って、参加した子供たちは相撲を楽しみました。

(関連記事 4 P)

令和4年7月末現在  
世帯 2,018 戸(ー 2)  
男 2,018 人(ー 1)  
女 2,097 人(ー 2)  
計 4,115 人(ー 3)



美林ちゃん



太郎ちゃん

## 「上松町地域ささえあい商品券」の支給実施

町では、新型コロナウイルス感染症の感染状況により日常生活及び経済活動の影響を受け、また原油価格・物価高騰等の影響を受けている住民の家計の支援及び町内事業者の活性化と町内経済の回復を図ることを目的に、七月一日において町の住民基本台帳に登録のある方へ国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して「上松町地域ささえあい商品券」（一人当たり二万円分）を簡易書留等により支給いたしました。支給対象は、〇二〇世帯、四、一八人。商品券の利用期間は、令和四年八月一日から令和五年一月三十一日までとなっておりますので、町民の皆様におかれましては、町内で安心して買い物をしていただき、合わせてコロナ禍で影響を受けている商店・事業者への支援として、地域内消費には是非ご協力をお願いいたします。

町では、新型コロナウイルス感染症の感染状況により日常生活及び経済活動の影響を受け、また原油価格・物価高騰等の影響を受けている住民の家計の支援及び町内事業者の活性化と町内経済の回復を図ることを目的に、七月一日において町の住民基本台帳に登録のある方へ国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して「上松町地域ささえあい商品券」（一人当たり二万円分）を簡易書留等により支給いたしました。支給対象は、〇二〇世帯、四、一八人。商品券の利用期間は、令和四年八月一日から令和五年一月三十一日までとなっておりますので、町民の皆様におかれましては、町内で安心して買い物をしていただき、合わせてコロナ禍で影響を受けている商店・事業者への支援として、地域内消費には是非ご協力をお願いいたします。



7月25日（福）木曾社会福祉事業協会 障害者支援施設 上松荘

## 夏の全国交通安全

### やまびこ運動



七月二十二日（金）から三十一日（日）までの十日間、夏の全国交通安全やまびこ運動が行われました。

初日となった二十二日は大桑村道の駅大桑で、のぼり旗を持ってドライバーへ交通安全を呼びかける人波作戦が行われ、上松町交通安全協会も参加しました。

また、七月二十六日（火）に

は国道十九号での速度抑制、安全運転を呼び掛ける「木曾かめ君50」が行われ、それに合わせて町交通安全協会が交通機動隊前で人波作戦を行いました。

交通事故はいつ、どこで起きるかわかりません。運転の際は横断歩道付近での徐行や、暗くなったら早めに車のライトをつけるなど、安全運転に努めましょう。また、歩行者の方も横断歩道を渡る際は手を挙げる、夜歩出の際は反射材を身につけるなど、交通事故防止を心がけましょう。

## 今年も寺坂に提灯の明かりが灯りました。

町において「ふるさと納税」を活用し、購入しました提灯約120張りにつきまして、今年度も上松町建設協会より貸出しの申請があり、8月中旬に寺坂に取り付けが行われました。

夜間の景観向上と夜道の安全確保のため、提灯は9月上旬まで掲出予定で、夜18:30～22:30の間に明かりが灯ります。

上松町建設協会の皆様暑い中ありがとうございました。



暑い中、寺坂に提灯を設置している上松町建設協会の皆様

# 長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会



長野県消防協会主催の長野県消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会が、七月十日（日）に、松本市の松本市消防団トレーニングセンターにおいて開催され、木曾郡の代表として、第二部小型ポンプ操法の部に、第四分団が出場しました。

大会の結果は、県内の各地区予選を勝ち上がったきた六チーム中、第四分団は六位という結果となりました。

選手皆さんのもとより、選手の指導やホース巻き等で選手をサポートしてこられた第四分団の皆さんや、選手を支えたご家族の方々、水利当番などで協力体制をとった他分団の皆さんなど、消防団全団をあげてのこれまでの取り組みに感謝いたします。

今回の経験を、これからの消防団活動に活かしていただき、引き続き消防団活動へのご理解ご協力をお願いいたします。

また、三ヶ月に及ぶ訓練期間中、ご理解ご協力をいただきました訓練会場近隣の住民の皆様、消防団を応援いただきました町民の皆様にも感謝申し上げます。

選手皆さん、お疲れさまでした。

## 第四分団出場選手

- |     |       |
|-----|-------|
| 主将  | 山下 浩幸 |
| 指揮者 | 上小路 誠 |
| 1番員 | 奥谷 聖  |
| 2番員 | 小林 王崇 |
| 3番員 | 西村 拓馬 |
| 補欠  | 古屋 慎平 |
| 補欠  | 山村 俊喜 |

## 大相撲 令和4年7月場所（名古屋場所）御嶽海関の成績

西大関 2勝 5敗 8休

大相撲令和4年7月場所が、令和4年7月10日から24日まで愛知県名古屋市中区ドルフィンズアリーナで開催されました。先場所では負け越しとなり、初のカド番で今場所を迎えました。初日を白星でスタートした御嶽海関でしたが、先場所の負傷が響いてか、調子が出ずに2連敗と苦しい状況となりました。その後、7日目に新型コロナウイルス感染症の陽性反応が出てしまい、休場となってしまいました。この悔しさをバネにして、来場所では更なる活躍を見せてくれることを期待します。

1日目	前頭筆頭	隆の勝	○	押し出し
2日目	前頭二枚目	琴ノ若	●	寄り切り
3日目	小結	阿炎	●	押し出し
4日目	前頭筆頭	霧馬山	○	突き落とし
5日目	前頭三枚目	宇良	●	とったり
6日目	前頭二枚目	逸ノ城	●	寄り切り
7日目	小結	豊昇龍	■	不戦敗
中日	休場			
9日目	休場			
10日目	休場			
11日目	休場			
12日目	休場			
13日目	休場			
14日目	休場			
千秋楽	休場			

**頑張れ！御嶽海関**

七月二十二日（金）、毎年この時期に恒例となっている第四十回上松町少年相撲大会が開催されました。

この相撲大会は、上松町と青少年健全育成推進委員会他各団体の共催で、相撲を通じて健康な心身を養うとともに、豊かな心を持つ活力あふれた郷土造りの担い手となる青少年を育成することを目的として毎年開催されています。

# 上松町 少年相撲大会

三年ぶりとなる今年の大会は、天候に恵まれ小学校相撲場での開催となり、保育園年長児十三名、小学校一年生から六年生まで三十四名、中学生二名の総勢四十九名が出場して行なわれました。

互いに一步も譲らず、膠着した場面や、土俵際の逆転もあり、会場は大いに盛り上がりました。

どの子供たちも会場に集まった保護者や仲間の声援を受けながら、自分の持つ力を精一杯出し切っていました。

大会の最後を飾る取組みとなった中学生男子の部では、激しく立ち合い、体がぶつかり合う音など、取組みも本格的でした。両者が互いに攻め合いとなり、一瞬のスキをついて決着がつかず、一瞬のスキを見ていた小学生たちからは、思わず「かっこいい！」という声が上がっていました。小学生たちから目標とされる、さすが中学生という取組みでした。

勝って喜び、負けて悔し涙を流していた子もいましたが、「礼に始まり、礼に終わる」という相撲の基本がしっかりとでき、最後は全員がやりきったという清々しい顔をしていました。

なお、この大会を迎えるにあたっては、土俵の準備から大会運営まで、青少年健全育成推進委員会他各団体の皆様のご協力のもと、本大会を支えていただきました。事故等も無く、無事大会が終了しましたことに、改めて感謝申し上げます。今後とも引き続き、青少年健全育成のため、ご協力をよろしくお願い致します。

大会の結果は、次ページのとおりです。



# 第40回上松町少年相撲大会結果

部門	順位	氏名
1年生男子	優勝	古瀬 瑛大
	準優勝	田上 直也
2年生男子	優勝	阿部 晴
	準優勝	羽毛田 凜
3年生男子	優勝	望月 煌太郎
	準優勝	原 友柊
4年生男子	優勝	小川 翔
	準優勝	今井 陽斗
	3位	酒井 凰牙
5年生男子	優勝	原 魁生
	準優勝	織田 優斗
	3位	岩原 怜生
6年生男子	優勝	小川 大空
	準優勝	高樋 遙
	3位	藤原 啓太

参加者 34名 (男子 19名、女子 15名)

部門	順位	氏名
1年生女子	優勝	今井 和奏
	準優勝	横内 柚紀
	3位	徳原 樹里
2年生女子	優勝	木下 萌心
	準優勝	高樋 知世
	3位	久保寺 彩花
3年生女子	優勝	田中 美蘭
	準優勝	髭村 悠莉
	3位	田上 美樹
4年生女子	優勝	藤原 衣織



中学生男子	優勝	山崎 琉輝空	準優勝	三浦 侑里
-------	----	--------	-----	-------

参加者 2名 (男子 2名)

保育園年長 参加者一覧	中島 蒼稀	高樋 さや
	前野 杏奈	石崎 崇太郎
	林 里駒人	永井 相奈
	唐澤 蒼太	名小路 世凧
	安達 仁志	竹原 珀
	六井 優星	中村 遥土
	木下 空奏	

参加者 13名 (男子 9名、女子 4名)



# 第26回参議院議員通常選挙投開票結果

7月10日（日）に行なわれた参議院議員通常選挙の投開票結果は次のとおりです。（上松町投票区）

## 長野県選出議員選挙

当日有権者数 … 3,622  
 投票者数 … 2,486  
 投票率 … 68.64  
 有効投票 … 2,441  
 無効投票 … 45  
 その他 … 0

## (届出順)

候補者名	党派	得票数
手塚 大輔	日本維新の会	143
松山 三四六	自由民主党	1,121
杉尾 ひでや	立憲民主党	1,061
サルサ 岩渕	無所属	20
秋山 よしはる	参政党	46
日高 ちほ	NHK党	50

## 比例代表選出議員選挙

当日有権者数 … 3,622  
 投票者数 … 2,486  
 投票率 … 68.64  
 有効投票 … 2,345  
 無効投票 … 141  
 その他 … 0



## 政党等得票数

政党等の名称	名簿届出政党等 得票数	名簿登載者 得票総数	政党等の名称	名簿届出政党等 得票数	名簿登載者 得票総数
幸福実現党	3	0	日本第一党	1	0
日本維新の会	171	14	日本共産党	137	7
れいわ新選組	39	3,032	新党くにもり	1	0
公明党	101	37	自由民主党	742	2,639
ごぼうの党	3	0	社会民主党	105	6
立憲民主党	476	59	NHK党	35	5
国民民主党	313	57	維新政党・新風	2	0
参政党	38	7			
いずれの参議院名簿登載者及び参議院名簿届出政党等にも属しないもの					0
按分の際切り捨てた有効投票数					0.002

## 地域おこし 協力隊だより



### 【村上 直也 隊員】

こんにちは、地域おこし協力隊だより今月の担当の村上直也です。

僕は町内外での木製品の展示や木工体験イベントなどを通して、まず身近に木の製品や様々なデザインに触れてもらう機会を増やし、そこから木工や家具、木材利用への興味につながっていきけるような活動に特に力をいれています。最近では、こういった活動は木育という言葉で呼ばれています。

その活動の中で、町内の子どもたちと一緒にものづくりをする機会を去年から多くいただいています。今年も、去年同様に小学校と連携した木工体験活動の他、小学生の生徒が自分たちで「町の人に使ってほしい！」とヒノキのベンチ作りを計画し、子どもたちが書いた設計図を見ながら、そのお手伝いをしたりもしています。

先日からは上松中学校の3年生と一緒に、卒業木念（きねん）と題し、今後中学校の美術室で使われるスツール（小椅子）の製作をKINOTOCOで行っています。この活動は、子どもたちの学びの空間の木質化を図る目的と並行して、他にも様々な目的が

あります。鉋を使ってカーブを削り出し、お家でDIYする際にも真似できる研磨やワックスの仕上げ方法を学ぶ木工体験としての目的や、地域の中学生にKINOTOCOを訪れてもらい、斬新でモダンなインテリアデザインや木製品、空き家を改修した空間を知ってもらおうという目的、そして他地域からの移住者である僕たちとコミュニケーションを取ることも目的です。また今回作ったスツールを上松町の商品として、木育活動のPRと併せて発信していくこともまた目的の一つです。

僕自身、子どもたちのころに木を使った工作やブロック遊びでたくさんのカッコいいものを作ることに挑戦したり、木の板を釘で打ち付けて、秘密基地の小屋を建てたりしていたという経験から、今の感性やクリエイティブな精神を養ってこれたと思っています。今の子どもたちにもそういった感覚を養ってもらえるような環境作りを意識し、将来の選択肢や、センスの引き出しに僕たちがデザインしたプロダクトが影響を与えられるように思いを込めて活動をしています。



## カタログポケットで「広報あげまつ」配信中

「Catalog Pocket」（カタログポケット、通称カタポケ）はパソコンやスマートフォン、タブレット端末で様々な地域の広報物を読むことができる無料閲覧サービスです。

文字・写真の拡大や、記事の読み上げ、外国語への翻訳機能も利用できます。カタログポケットでの閲覧は表紙のQRコードからお願いします。



## 健康増進センターリレートーク ……健康とデータ⑦④

美林ちゃん(美)



24.0%



太郎ちゃん(太)

美：ねぇ太郎ちゃん。20歳になったらしたいことってある？

太：仕事終わりにビール飲めることが最高でしょー！！

美：こどもらしからぬ発言ね…。飲酒によってがんのリスクが上がると言われているわ。

だから、お酒の適量を知ること、がん検診を定期的に受けることが大切ね！

太：適量を守って検診も受ける、カッコイイ大人になりたいな！！

太郎ちゃんが憧れたように、仕事終わりの1杯を楽しみにされている方もいると思います。

今回の数値は、令和3年度国保特定健診受診者の内、「毎日飲酒をする」と答えた方の割合です。約4人に1人が毎日飲酒する習慣があるようです。

飲酒は、以下のように多くのがんとの関連が強いです。

飲酒により発症のリスクを上げると報告されているがん：口腔、咽頭、食道、大腸、肝臓、乳房

飲酒により体内に取り込まれたエタノールは、発がん性が示されているアセトアルデヒドに代謝されるため、がんの原因になると考えられています。

また、タバコを吸う方が飲酒すると、がん全体の発症リスクは特に高くなることが分かっています。

みなさんは飲酒する時、“適量”を意識していますか？

楽しくおいしく飲むためには、以下の適量（どれか1種類程度）を守り、週に2回の休肝日を作ることが大切です。（※適量はいくまで目安であり、個人差があります。また、60歳以上の方・高血糖や糖尿病の方の適量は、半分の量になります。）

種類	ビール	日本酒	ウイスキー	焼酎	ワイン
目安	500ml (中びん1本)	180ml (1合)	60ml (ダブル1杯)	90ml (0.5合)	240ml (グラス2杯)

適量を知ることに加えて大切なのが、“がん検診”です。

上松町では、8月～11月にかけてがん検診（肺・胃・大腸・乳房・子宮）を実施します。

がん検診を定期的に受け、自分の体を知り、異常がないか確認しましょう。

◎お問い合わせ先：上松町役場 保健衛生係（52-2825）

町の情報は  
こちらから  
上松町公式サイト



<http://www.town.agematsu.nagano.jp/>

※情報掲載に同意を頂いた方のみ掲載しています。

原 菊子 95歳 西中

ごめいふくをお祈りします

上條 鈴葉 厚 すみれ 下旭町

北本 律 佳織 大樹 下旭町

おすすめやかに



七月  
(敬称略)